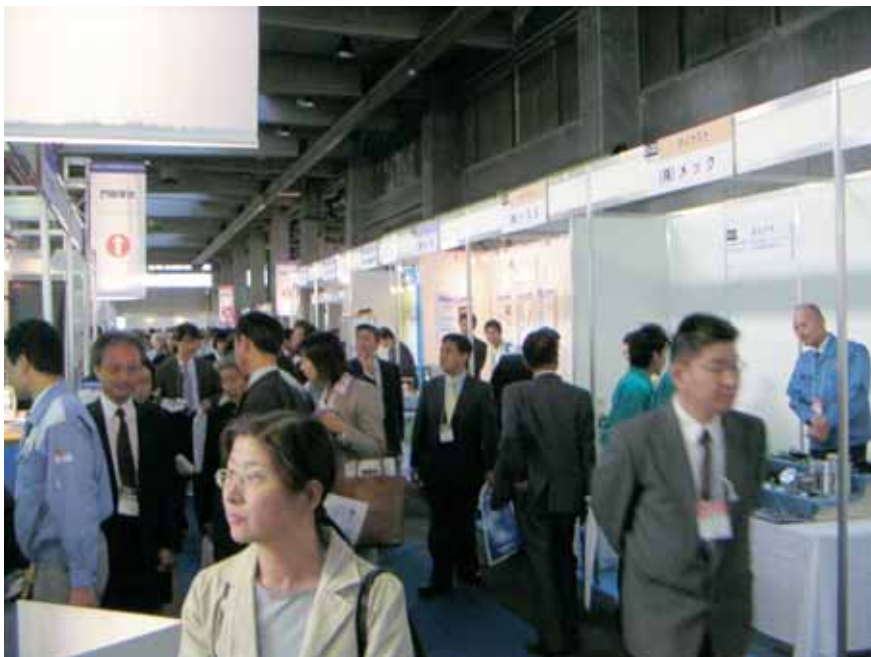


新まち通信

歩き続けるとき

…地元のことを知ることで
まちづくりのきっかけを探そう…

10月14日から16日まで諏訪市で開催されました諏訪圏工業メッセ2004に富士見町の企業が7社出店されていたのをきっかけに、もっと地元企業を知りたいという思いで町内の企業を訪ねました。
今回訪問したのは新田にあります(有)牛山製作所と、神戸にあり、みやま工業(有)です。



諏訪圏工業メッセ2004

諏訪の企業を中心に221社が参加し、自社のPRを行いました



(有)牛山製作所では

工場を訪ねると牛山諭吉代表が迎えてくださいました。入口にあるショウケースにスラップスケートの部品が展示されており、長野オリンピックスピードスケート500m金メダリスト、現世界新記録保持者の清水宏保選手のものとお聞きし、「うっ」と固まったまま、しばらく言葉に詰まってしまいました。情報機器・装置部品・専用機・治工具など切削・研削・MC加工を中心に精密部品をトータルで製造できるパーツメーカーとして試作品から量産品まで多品種少量品への対応を得意分野とされているそうで、工場内にはたくさん加工機が設置されており、なかでも安田工業の加工機を使っていることが、業界でのステータスとなっているそうです。

最近では若手工業者のグループも立ち上がり、情報交換を積極的におこなっているようですが、他産業同様に技術者の減少と後継者不足は深刻で、10年後を非常に心配されておりました。
設備投資をしたいがなかなか出ないのが現実ではあるものの、「常に新しいものにチャレンジする姿勢を持ちつづけ、頑張りたい」と語る牛山さんの言葉が非常に印象的でした。

(有)みやま工業では



この日は小林昭彦代表が出張中というところで、息子さんの裕樹さんが迎えてくださいました。
工場では、アルミダイカスト製品の鋳造、加工、表面処理、金型手配などの業務を行っており、富士通グループ環境マネジメント適合登録工場、ISO 9001認定工場として環境を考えた企業づくりを目指しているそうで、昭和48年の創業以来、祖父から父へ、そして父から子へと引き継がれて

きた確かな技術に裏づけされた製品づくりに自信を持つ若者の勢いを感じました。

製品の中には、現在イラクでアメリカ軍が使用しているトランシーバーの部品や、MDプレーヤーの外装品で厚さが0.5ミリのものなどがあり、細かな凹凸と特殊な形状でできた精密なアルミダイカスト技術に眼を奪われました。

最後には小林代表も掛けつけてくださり、「小さな企業が生き残るためには特色を持つことが重要になる。今まで以上に複雑な形状でも薄いアルミダイカスト製品に拘り、研究開発に力を注ぎたい。」とおっしゃっていました。

ものづくりの現場を訪ね、探究心を忘れずに果敢にチャレンジする姿は二社に共通していました。そして、富士見町にある小さな企業かもしれないが、世界に誇れる確かな技術がそこにあることを発見しました。

このコーナーに関する「ご意見ご感想」をお寄せください。

問い合わせ

総務課新しまちづくり係

☎ 62 9328 (有)9328

FAX 62 4481

e-mail:

sounu@town.fujinagano.jp